

文法をやさしく

ぶん ぼう

第8回 Vたら～

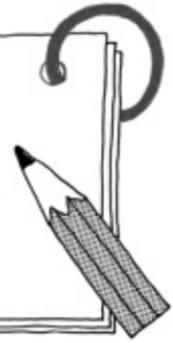
だい かい

学習段階：初級後半

がくしゅうだんかい しょきゅうこうはん

キーワード：意志性・複文・過去・アスペクト

い し せい ふくぶん か こ



今回は、前回に続いて複文を勉強します。今回取り上げる「～たら」は、「～と、～ば、～なら」とよく比べられますが、これらの中では、使い方に制限がなく、いろいろな状況で使える便利な形だと言われています。

ちらと……ちらっと、軽い気持ちで

てなわけで……というわけで

おいら……「わたし」のくだけた言い方

鴻上尚史『ドン・キホーテのロンドン』(扶桑社) p.26 11～8

こうかみしやうじ (下線および a b c は荒川・木山による)

かせん あらかわ きやま

1. いろいろな「Vたら～」

次の文章は、演劇の作家で演出家でもある筆者が、ロンドンの演劇学校へ留学したときの経験を書いたエッセイ集のはじめの章からの引用です。

9月15日からいよいよ演劇学校の授業が始まります。(中略)この前ちらとあいさつに a 行ったら、リラックスしろよと、マシンガンのような英語でいわれました。

てなわけで、こんな準備のために1ヵ月間、この連載を休ませていただきます。

1ヵ月後、おいらに連載を再開する体力と精神力が b あったら、お目にかかりましょう。英語ノイローゼに c なっていたらだめです。

上の a～c の文の構造だけをわかりやすく書くと次のようになります。

a' わたしがいさつに行ったら、先生から～と言われました。

b' 体力と精神力があったら、会いましょう。

c' ノイローゼになっていたら、だめです。

初級の段階で学習者がまず出会うのは b'、c' のように文末が非過去の文です。前件(「たら」の前)のできごとや状態をきっかけとして実現することが、後件(「たら」の後)で述べられます。「Vたら～」の文の後件では b' のように意志性のあるものも c' のように判断も入れられます。

〈1〉 日本に着いたら、手紙をくださいね。

〈1'〉 日本に着くと、手紙をくださいね。(??)

「～と」や「～ば」には、文末の形に制限がありますが(〈1'〉)、「～たら」にはそのような制限がないので使いやすい印象があります。しかし、「たら」にも気をつけなければならないポイントがあります。

2. 過去の文の「Vたら～」

もう一度 a' を見てみましょう。a' は b' c' と違って過去の文になっています。次の 〈2〉 〈3〉 も過去の例文です。



〈2〉(わたしは)病気がなったら、お酒が飲みたくなつた。

〈3〉(わたしは)病気がなったら、お酒をやめた。(??)

どちらの例文でも、話し手が「病気がなったときに」実際にあったできごとを言おうとしています。

〈2〉〈3〉の後件の意志性を比べてみましょう。「お酒が飲みたくなった」のは話し手ですが、これは話し手がコントロールできることではありません。「お酒をやめる」のも話し手ですが、これは話し手の意志で「やめる」か「やめない」か決められます。下したの〈3〉も見てください。

〈3〉 父は、医者が注意したら、お酒をやめた。

「お酒をやめた」という行動は同じですが、これは父が決めたことで、話し手にはコントロールできません。さらに、例文を見てみましょう。

〈4〉 会社を出たら、雨が降りはじめた。

〈5〉 会社を出たら、ちょうどタクシーが来た。

〈6〉 会社を出たら、タクシーに乗った。(??)

やはり〈6〉のように、話し手が意志的にする動作が後件にあると、文が成立しません。〈4〉〈5〉では、「会社を出る」とときには、話し手は「雨が降り始める」ことも、「ちょうどタクシーが来る」こともわからなかったはずですが、「タクシーに乗る」ことは、普通は話し手に気づかないうち実現することではありません。〈2〉〈3〉〈4〉〈5〉のように、過去の「Vたら～」の文は、あるきっかけで話し手が後件の動作や変化に初めて気づいた場合に成立します。次の例でも「話し手が後件で起こることについていつ気づくか」に注目して考えてみましょう。

〈7〉 電車に乗ったら、ずいぶん混んでいた。

〈8〉 電車に乗っていたら、だれかの携帯電話が鳴った。

〈9〉 電車に乗っていたら、ずいぶん混んでいた。(??)

〈10〉 電車に乗っていたら、眠かった。(??)

〈7〉は電車に乗ったときに初めて、車内の混んでいる状態を知った場合です(気づくのは乗った瞬間=混雑中のある瞬間)。〈8〉は電車に乗車中に、携帯電話の音が聞こえた場合です(気づくのは乗車中のある瞬間=携帯電話が鳴る瞬間)。ところが〈9〉〈10〉は、前件と後件がどちらも状態を表す述語で、後件の状態に気づく瞬間を示すことができず、文が成立しないのです。

〈9〉 電車に乗っていたら、どんどん混んできた。

〈10〉 電車に乗っていたら、眠くなってきた。

〈9〉〈10〉のようにそれまでなかった「どんどん混む」や「眠くなる」という変化が、乗車中のある時点で始まったという内容の文に直せば、「Vたら～」の文が成り立ちます。

「Vたら～」は、まず非過去の文で学習しますが、過去の文も作ろうとすると、意味の上で「～したときに」と似ているため、〈3〉〈6〉〈9〉〈10〉のような誤用が生じます。今回勉強した過去の「Vたら～」の性質を、学習者の誤用を考える上で役立ててみてください。

クイズ

{ }の中から、文法的に正しい文になることをすべて選んでください。

A 教授：ゆうべは、ずいぶん遅くまで図書館にいましたね。

学生：ええ、8時まで試験の勉強を①したら・②して・③してから、レポートも書きました。

B ゲームをしていたら①コンピュータが壊れた・②頭が痛かった・③母に叱られた。

参考文献

西口光一『基礎日本語文法教本』(2000)アルク p.189-191
蓮沼昭子ほか『日本語文法セルフマスターシリーズ7.条件表現』(2001)くろしお出版

㊦㊧㊨ ㊩㊪㊫ ㊬㊭㊮㊯

このコーナーについてご感想やご質問があれば送ってください。

担当者：荒川みどり(日本語国際センター客員講師)、木山登茂子(日本語国際センター専任講師)